



2023年4月14日

各 位

会社名 株式会社 篠崎屋
代表者名 代表取締役 樽見 茂
(コード番号 2926 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理グループ長兼経営企画部長
兼 I R 室長 矢立 実
電話番号 048-970-4949

2023年9月期第2四半期累計期間業績予想及び配当予想の開示に関するお知らせ

当社は、2023年9月期第2四半期累計期間（2022年10月1日～2023年3月31日）の業績予想及び配当予想が公表できる段階となりましたのでお知らせいたします。

なお、通期の業績予想及び配当予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での開示は行っておりません。ただし、既存店舗等の情報を月次で開示するとともに、通期の見通しが分かり次第開示してまいります。

記

1. 2023年9月期第2四半期累計期間の業績予想（2022年10月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2022年9月期第2四半期累計期間実績 (A)	1,467	6	6	△10	△0.72
発表予想 (B)	1,378	△23	△22	35	2.50
増減額 (B-A)	△88	△29	△28	45	
増減率 (%)	△6.0	—	—	—	

2. 2023年9月期第2四半期累計期間の業績予想の開示理由

当第2四半期累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響等による景気の先行きは不透明な状況となっていることから、顧客数の確保を第一とし売上高の拡大に取り組んでまいりました。

店舗におきましては、引き続き開店時間から12時までの時間帯に「朝市」を開催し、購買意欲の高い顧客層の来店頻度の向上を図ってまいりましたが、利益率確保のため対象商品数の見直しや値引き率の調整等を行いました。また、顧客数の更なる増加のため店頭商品の見直しを強化してまいりました。

この結果、顧客数は前年同四半期比116.9%、顧客単価は98.0%となり、売上高は閉店店舗の影響等により前年同四半期比6.0%減となる見込みですが、1店舗平均の売上高は114.6%となりました。利益面につきましては、仕入価格の上昇による売上総利益率の低下や人件費の上昇等により、営業損失は23百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）、特別利益として水海道工場を売却したことによる固定資産売却益82百万円、特別損失として減損損失3百万円及び店舗閉店損失7百万円等を計上した結果、四半期純利益は35百万円（前年同四半期は四半期純損失10百万円）となる見込みであります。

3. 2023年9月期第2四半期累計期間の配当予想（2022年10月1日～2023年3月31日）

	第2四半期末	期末	合計
発表予想	0.00円	—	—
（ご参考） （2022年9月期実績）	0.00円	0.00円	0.00円

4. 配当予想の開示理由

当社の利益配分に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題とし、業績及びその時点での経営状況に応じた成果の配分を配当として実施することを目指すとともに、将来の事業展開に備えて財務体質の強化を図ることに努めることとしておりますが、直近の業績に鑑み、第2四半期末につきましては無配とさせていただきます。

以上